

平成28年度 静岡大学 職員海外研修報告書

研修期間：平成29年3月2日（木）～3月7日（火）

研修先：ベトナム

研修者：杉山 雅俊（研究協力課研究支援係長）

佐藤 翠（国際交流課国際学生交流係員）

猪瀬 智巳（農学部総務係員）



はじめに

研修制度の目的

本学が推進する「アジアブリッジプログラム」の実施を含め、大学の国際化に伴い、留学生の交流、外国人教員の雇用等が拡大するなか、英語力や異文化などグローバルマインドを持ち、複雑化・高度化する業務に対応できる職員の人材育成は重要である。このため、全学研修の中で事務職員を積極的に海外に派遣し、海外の事情、文化等を理解することにより、本学の全学的な教育改革・組織改革によるグローバル人材育成機能の強化を図り、併せて海外拠点の活用に向けても推進を図る。

研修内容

- (1) ベトナムにおける本学同窓会組織の設立準備
- (2) 現地協定校等の教育・研究支援体制及び事務組織等の視察、文化視察

海外研修日程

日付	杉山・猪瀬	佐藤	備考
3月1日(水)	前泊(成田空港)		
3月2日(木)	発 成田空港 着 ハノイ空港	発 羽田空港(機中泊) 着 バンコク空港 発 バンコク空港 着 ハノイ空港	
	帰国留学生の企業訪問		
3月3日(金)	日本貿易振興機構(JETRO) 訪問 日本学生支援機構(JASSO) 訪問 日越人材協力センター(VJCC) 訪問 ベトナム教育訓練省国際教育開発局(MOET-VIED) 訪問		ハノイ市内
3月4日(土)	静岡大学ベトナム同窓会・セミナー		Fortuna Hotel
3月5日(日)	ハノイ文化研修	発 ハノイ空港 着 バンコク空港	
3月6日(月)	ハノイ国家大学外国語大学 訪問 ベトナム国立林業大学 訪問	バンコク研修	
3月7日(火)	発 ハノイ空港(機中泊) 着 成田空港	バンコク研修	
3月8日(水)		発 バンコク空港 着 成田空港	

ベトナム概要（基本情報）

国号：ベトナム社会主義共和国

面積：約33万km²（日本の約90%）

人口：約9,270万人（2016年）

首都：ハノイ

言語：ベトナム語

宗教：仏教（約80%）他

通貨：VND（ベトナムドン） ※1円≒200VND(2016年)

平均年齢：30.1歳（2016年） ※日本の平均年齢は46.4歳（2016年）

主要産業：農林水産業、鉱業、工業

在留邦人数：14,695人（2015年10月）

ベトナム進出日系企業数：2,527社（2016年）



出所：JETROハノイ事務所作成資料、外務省ホームページ等

ベトナム概要（教育）

教育制度：小学校 5年(6歳～)、中学校 4年、高校 3年、大学 4年

就学率：小学校 98.3%、中学校 88.0%、高校 42.1%、大学 20%前後

学年度：9月から8月まで（2学期制）

日本に留学しているベトナム人：38,882人(中国に次ぎ、世界2位)

教育行政(高等教育)：教育訓練省（Ministry of Education and Training）

ベトナム政府による奨学金：スキーム911 越政府派遣博士留学生奨学金など

※教育訓練省国際教育開発局（MOET-VIED）が、国費留学生審査及び政府派遣留学生奨学金事業の窓口となっている。VIEDと協定を締結した大学のみ、この留学生を受け入れることができる。

大学数：国家大学 2校（ハノイ、ホーチミン）

国立大学 345校

私立大学 89校

識字率：94.4%

出所：JETROハノイ事務所作成資料、外務省・JASSOホームページ等

就学率・大学数：2014年データ、留学生数：2016年データ



機関訪問① JETRO ハノイ事務所

所在地

CornerStone Building 9th Floor, 16 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, VIETNAM

組織概要と役割

日本貿易振興機構の海外事務所

[ベトナム事務所：ハノイ・ホーチミンシティ]

- 在越日系企業への情報提供や各種イベントの実施、経済統計調査を行い、貿易の拡大と経済協力促進活動を行っている。
- ハノイ事務所は1992年開所。日本政府機関としては最も早い時期に開設された事務所のひとつ。



2017/03/03 対応者:竹内 直生ディレクター

機関訪問① JETRO ハノイ事務所

ベトナムの経済情勢

- ・ **安定的な成長**だが、伸び切らず
- ・ **若年層**が人口の60%（中間年齢30歳）
- ・ 2大都市周辺に人口が集中
（人口4割弱の南部で経済の過半数を握る）
- ・ ハノイー ホーチミン間の**ギャップ**
（地理的要因・経済規模・文化歴史的背景）



人材としてのベトナム人

- ・ 国民性：儒教精神、素直さ
- ・ 教育水準：識字率90%◎、知識偏重・詰込型教育
→ **課題発見能力や自己解決力のある人材が必要**
- ・ 起業：サクセスストーリー
→ **リーダー育成にはロールモデルが重要**
→ **一方で上昇思考・野心にも好感**
- ・ 就職の際に大学の専攻内容との一致を重視



機関訪問② JASSO ハノイ事務所

所在地

CornerStone Building 4th Floor, 16 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, VIETNAM

組織概要と役割

日本学生支援機構として初の海外事務所

2017年3月27日開所予定

(他国の事務所は日本育英会時代に開所)

- 日本留学希望者へ向けた情報発信
- 留学フェアの実施
- 留学希望者への相談窓口、資料閲覧スペース
- 出願書類の作成サポート
- 大学の海外拠点機能（レンタルデスクルーム）



相談スペース・資料室



レンタルデスクルーム

2017/03/03 対応者:岡田 淑子首席駐在員

機関訪問② JASSO ハノイ事務所

期待と課題

今後も日本への留学希望者の**増加傾向は続く**

期待

- △ 初等教育段階での日本語教育
- △ 日本文化浸透
- △ EJU（日本留学試験）受験者↑



- ▼ 悪徳エージェント→不法就労
▼ ビザ厳格化…証明書偽造、預金習慣がない
- 課題



リクルートにあたって

- ・ ABPは魅力的…手続簡単、受験料免除
- ・ 情報不足…ヴィジュアル、SNSを積極的に活用 (facebook, zalo, viber)
- ・ 芋づる式…口コミで留学先を決める傾向
まずはパイオニアを。



機関訪問③ VJCC 越日人材協力センター

所在地

No 91 Chua Lang Str, Dong Da Dist,
Ha Noi, Viet Nam
(貿易大学構内)

組織概要と役割

ビジネス人材育成機関
日越政府合意に基づき、JICAの支援によって
2000年に設立。ホーチミンにも拠点がある

- 経営塾（松下幸之助イズム）
…人気が高く、受講生が独自の取り組みを始める等
成果が出ている
- ビジネス日本語教育
- 図書館、日本の新聞の提供



2017/03/03 対応者: Ms. Nguyen Thi Hien, Director / Mr. Mizuno Takashi, Chief Advisor

機関訪問③ VJCC 越日人材協力センター



貿易大学（FTU）内に事務所を構える。
FTUは文系大学の中での最難関校の
ひとつであり、日本語学科も有する。

日本型国際ビジネス学部新設

貿易大学（FTU）との協力による新たな取り組み
日本型ビジネス教育+日本語教育
= 就職後すぐに日系企業で活躍できる人材

- 教員の派遣
- ツイニングプログラム 本学への協力要請

2017/03/03 対応者: Ms. Nguyen Thi Hien, Director / Mr. Mizuno Takashi, Chief Advisor



機関訪問④ VIED 教育訓練省国際教育開発局

VIED (Vietnam International Education Development) 概要

教育訓練省 (MOET)の直轄局

1) 世界との高等教育ネットワーク・協定

…協定を結んだ機関のみがVIEDの管理する奨学金受給者を受入れ可能

本学は日本国内では17番目の協定校(平成28年度締結)

2) 政府派遣留学生奨学金事業

3) 協定奨学金事業

…外国政府や民間企業が出資する奨学金事情のとりまとめ

そのほかに、国際学生センター (CIS) では
留学支援事業 (公的留学エージェント事業) や
留学生ドミトリーの運営も行っている

左からVIED局長Dr. Phạm Quang Hưng、
鈴木国際交流センター長、前田局長、
国際教育部副部長Ms. Nguyễn Thị Thu



機関訪問④ VIED 教育訓練省国際教育開発局

日本派遣関係の奨学金

VIEDと協定を結んだ機関のみ受入れ可能
人数はいずれも1年あたり

計画番号	ベトナム政府派遣	人数
ｽｷｰ-4911	博士留学生	130
ｽｷｰ-4599	修士留学生	60
	学士留学生	10
ｽｷｰ-41558	原子力工学分野学士留学生	10

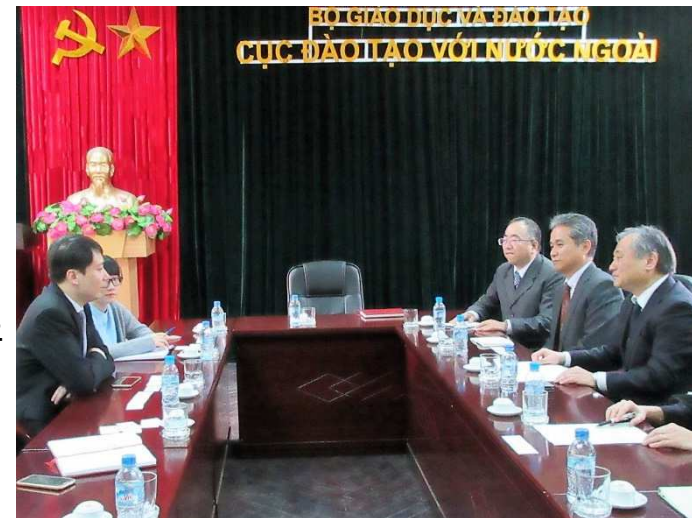
日本との連携奨学金	人数
● 人材育成無償私費留学生奨学金	10
● 国費留学生(大使館推薦) 大学院	30
● 国費留学生(大使館推薦) 学士	若干
三菱重工機械工学分野学士	10

博士留学生奨学金見直し

現在：留学終了＝博士課程修了



見直し後：
ベトナムで1～2年＋留学期間1～2年
計3～4年のツイニング博士課程支援へ移行
本学では受入れに向けて
協定校とのDDP協定締結が必要



ｽｷｰ-41558原子力工学分野学士留学生については、2017年現在原子力行政の見直しにより計画が停止中

静岡大学 ベトナム同窓会・セミナー

目的

ベトナムにおける産学連携を基盤とした
静岡地域の人材交流の促進

日時

2017年3月4日（土） 14：30～18：00
14：30～16：00 同窓会運営会議・セミナー
16：30～18：00 ネットワーキング懇親会

会場

Fortuna Hotel (Hanoi, Vietnam)

参加者

静岡大学元留学生、卒業生の皆様
静岡県内外の企業・自治体関係者の皆様
静岡大学関係者

オンラインでの事前申込

登録51名、出席43名

静岡大学 ベトナム同窓会・セミナー（研修生の役割）

当日までの準備

- ・元留学生の指導教員へ連絡先を確認
- ・名札の作成
- ・開催前日に、同窓生にお会いして、出席のお願いの働きかけを行った。



同窓生 NGUYEN VO HUYEN DUONGさん、
VU THANH TUNGさんと（NGUYEN VO
HUYEN DUONGさんのオフィスにて）

当日の業務

- ・受付
- ・会場の案内



受付業務・当日の様子

同窓会・セミナー実施①（3月4日（土））

同窓会運営会議・セミナー

1. 国際交流センター長
鈴木滋彦先生による挨拶
2. 静岡大学におけるベトナム留学生
の概況、および静岡大学の近況
(国際交流センター教授 松田紀子先生)



同窓会・セミナー実施②（3月4日（土））

3. 執行部の選定

会長：Tran Hoang Vu、副会長：Khanh Huynh Le、永田 友一
グループとりまとめ：【NIFEE】Lam Thi Sang、
【環境リーダー】Do Man Hao
【VNUF】Nguyen Duy Vuong



同窓会・セミナー実施③（3月4日（土））

4. ハノイ国家大学外国語大学 副学長 NGO MINH THUY 先生の祝辞 と花束贈呈



同窓会・セミナー実施④（3月4日（土））

5. 集合写真



6. アジアブリッジプログラムの説明 （グローバル企画推進室特任教授 野澤義明先生）

同窓会・セミナー実施④（3月4日（土））

ネットワーキング懇親会

1. 前田千尋事務局長による開会の挨拶



2. ベトナム国立林業大学副学長
Dr. Pham Van Chuong先生
による乾杯の挨拶



同窓会・セミナー実施⑤（3月4日（土））

3、懇親会

(1) 元留学生の近況
Vu会長、Ms. Dao



(2) 企業の方のご挨拶
Yamaha Motor
Vietnam橋本様、
静岡県人会 高田様



静大育ちの紹介
農学部総務係
猪瀬智巳



同窓生へのインタビュー

同窓会で今後やりたいことは何ですか？

- 静岡大学の学生とベトナムで交流したい。
- 静岡大学で学びたい学生のサポートをしたい。
- ABPはとても良いプログラムだと思うので、
ベトナムの高校2年生に静岡を知ってもらえるようにしたい。
- 日本でお世話になった先生に再会したい。
- (さくらサイエンスプランで来日した学生)
一緒にプログラムに参加した、インドネシア、
ジャカルタ、バンコク、タイの仲間に再会したい。

ハノイ国家大学外国語大学(VNU-ULIS)訪問①

名称

Vietnam National University, Hanoi, (VNU) –
University of Languages & International Studies (ULIS)

国家大学とは

ベトナム政府の直轄機関であり、このような大学は、
ハノイ国家大学とホーチミン市国家大学の2機関のみ。
ハノイ国家大学は、外国語大学などの7つの大学を傘下に置いている。



VNU-ULISの概要

1955年に創立し、言語、言語学、国際学、関連の人文社会科学における
有数の大学。教育プログラムには、英語、ロシア語、フランス語、中国語
日本語、ドイツ語、韓国語、アラビア語などがある。2014年に静岡大学
と大学間協定を締結。

学部等：学士課程 12学部、修士課程 10コース、博士課程 8コース

学生数：学部生 7,775人、大学院生 443人、附属高校 1,450人

教職員数：749人



ハノイ国家大学外国語大学(VNU-ULIS)訪問②

日本に対する関心

日本語専攻は、近年人気が高く、
2016年の入学者は250名程度
(2015年の2倍に増加)

- ロシア語、フランス語などの志願者が減っているため、日本語専攻の学生を増やして定員を充足させた。
- 日本語専攻の教員が不足するため、非常勤講師を募集したが、すぐに対応できない。(担当する授業が、昨年より1.5倍程度増えてしまい、教員の不満に・・・)
- 近年、日系企業のベトナム進出が増加しており、日本語教育のニーズは高まっている。



THUY副学長(左から3番目)、国際部の皆様と撮影



国際部のTHANG副部長(左から2番目)、国際部スタッフのHANHさんとの質疑応答の様子

ハノイ国家大学外国語大学(VNU-ULIS)訪問③

留学生支援

授業料：学部生 約2,000円/月（協定校の留学生は免除）

学生寮：寮の質は良くないが、日本人留学生向けに個室又は2人部屋を用意。（他の国は、6～8人の相部屋が多い。）

語学サポート：スタッフは英語によるサポート。学生インターンシップも活用。（日本語、韓国語、中国語によるサポート）

その他：ビザ申請のサポート

研究者支援

大学は教員の研究活動を奨励しており、教員は目標を設定して、研究費を申請。

➤成果が出ない場合は、返還の可能性有。

教員と事務職員の連携は少ない。

➤事務職員はサポートの意識が低い。

➤国営企業における弊害。

研究室が不足している。



国際部オフィスにて撮影

ベトナム国立林業大学（VNUF）訪問①

名称

Vietnam National University of Forestry (VNUF)

VNUFの概要

1964年に創立された国立大学で、教育訓練省と農業農村開発省が共同で管理。森林科学、機械・土木工学、森林資源・環境学、経済・経営学の4分野を中心に学士・修士・博士課程を備え、農村開発や森林資源管理の高度専門技術者を輩出している。

アメリカ、ロシア、ドイツ、中国、日本、ラオス、カンボジア、カナダ、フィリピン、マレーシアなど50以上の大学と協定関係にある。

2011年に静岡大学農学部と部局間協定を締結。

学部等：学士課程 4学部、修士課程 7コース、博士課程 5コース

学生数：約18,000人

教職員数：907人（教員 565人、職員 342人）



ベトナム国立林業大学（VNUF）訪問②

日本に対する関心

近年は、日本、アメリカ、ドイツなどに留学する学生が増えている。

学生にとって、世界3位の経済国で質の高い教育を受けられるため、日本への留学は大きなチャンスと捉えている。

VNUFとしては、林業分野の発展、ベトナムの社会経済環境の発展に貢献できる優秀な人材育成のため、留学を推進。

海外留学の支援

学生へのアンケート結果によると、
海外留学を希望する学生…約10%
実際に海外留学する学生…約3%

VNUFでは、大学間協定、奨学金、支援事業を通じて、年間40～50名の留学生の派遣を目標としている。



協定書更新の調印式の様子



ベトナム国立林業大学（VNUF）訪問③

留学生支援

授業料：学部生 約4万円／年、大学院生 約9万円／年

他国の協定校と連携して、留学生の受入れを推進しており、英語によるカリキュラムを用意

奨学金の支給や学生寮の整備

就職活動の支援（60以上の大学・研究機関等のネットワークを利用）

外国人ボランティアによる支援（インターンシップを活用）

外国人留学生の在籍者 34名（2016年現在）

留学生は、ラオス、カンボジア、パキスタン、ミャンマーなどアジアが中心

卒業した留学生のネットワーク構築を支援

➤ウェブサイト

➤記念基金への参加を呼びかけ



質疑応答の様子

ベトナム国立林業大学（VNUF）訪問④

VNUF学内施設



Phuong先生(左)、国際交流担当のDOI副学長(左から2番目)、SAM国際交流部長(中央)



中庭の様子。奥の建物では国際女性の日を記念した行事が催されていた。



メインキャンパスの配置図



建築学科（インテリアデザイン）の建物



数学センターの建物

文化視察



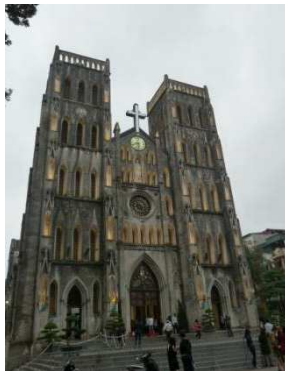
ホーチミン廟。ベトナムの初代国家主席ホーチミンの遺体が安置されている。休日には参拝者の行列ができていた。



ハノイ旧市街。保存地域に指定されているため、古い家並みが残る。



旧市街の路上市場。日用品など様々なものが売られていた。



ハノイ大教会。1886年建立のハノイで最も大きな教会。ミサが行われていた。



一柱寺。蓮池の中央に建つ小さな仏堂。1049年に建立。



ホアンキエム湖にて。ハノイ市街の中心にある湖。→



東河門。旧市街に残る旧ハノイ城の門。1749年に建てられ、19世紀に修復されている。



白馬最靈祠。ハノイ最古の寺院で龍神と白馬神を祀っている。

所感

本研修の実施にあたり、これまで私は国際交流や学務系の業務に関わることが少なかったため、当初は戸惑いもありましたが、研修を通じて大学の国際的な活動に触れ、考える機会を持つことができたことは、大変貴重な経験を得られたと感じています。ベトナム同窓会の立ち上げ会では、元留学生や企業関係者、協定校の先生方から、今後の会の抱負や交流の発展を期待する声を直接聞くことができました。今後もこのネットワークが継続・拡大していき、新たな留学生の獲得や大学間の交流事業の発展、帰国留学生の就職支援など、静岡大学の国際化を支援する活動に繋がっていくことを期待したいと思います。また、VNU及びVNUF訪問の際は、訪問先の先生方に、こちらの質問に丁寧に対応して頂き、興味深いお話も伺うことができましたが、英語での会話にはほとんど着いていけず、語学力の必要性を強く感じました。

研修を通して、国際交流課や職員課の方々、国際交流センターの先生方、関係者の皆様には大変お世話になりました。佐藤さんと猪瀬さんにも様々な場面で助けて頂きました。心より感謝申し上げます。

研究協力課研究支援係 杉山 雅俊

ベトナム同窓会の立ち上げにあたって、準備の段階から関わらせていただいたことで一つのプロジェクトを行うためのさまざまな段階での対応力が鍛えられたように思います。また、当日は幅広い年代の同窓生が参加し、その活躍を知ることができました。また、普段の業務の中で留学生と直接コミュニケーションをとる機会は少ないため、彼らと交流をもち、卒業後の活躍の様子を聞くことができたのは、とても刺激になる出来事でした。

私にとって、3度目の訪越となりましたが、研修という目的をもち、主軸となった同窓会実施に加え、関係機関を訪問し意見交換をさせていただいたことで、今までに気が付かなかったベトナムの姿を実感することとなりました。また、研修全体を通しては、自分の至らないところをつよく感じることもとなりました。今回の研修で得た知見や反省を今後に生かしていきたいと思っています。

国際交流課国際学生交流係 佐藤 翠

今回の研修では、静岡大学の国際交流業務として、MOETをはじめとする、JETRO、JASSO、VJCC各機関への訪問、静岡大学海外同窓会のベトナム支部の立ち上げ会への参加、協定校であるVNU、VNUFへの訪問等、と盛りだくさんの内容で、普段の業務では経験できない多くのことを経験させていただき、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。研修前は、経験不足であるための不安もありましたが、研修を終えて、怖がらずにやってみることで広がる可能性があるのだということを教えていただきました。また、同窓会組織の設立の事前準備として、全学同窓会事務室の方に、同窓会業務についてお話を伺ったり、留学生に関係する業務をしている学務係の方にお話を伺ったりと、普段は目を向けていなかったことを知ることができたことも有難いことでした。ベトナムでは、街を歩いていても、日本語を勉強したことがあるという方がいらっしゃって助けていただくこともあり、ベトナムの方々の心のあたたかさ、日本語のニーズの高さを感じました。

一方、研修中は、英語でやりとりする場面も多くあり、自分の語学力の無さを痛感しました。事前に語学研修を受ける機会を与えていただいたおかげで、農学部で接する留学生の方と英語で会話をするとは何とかできるようになりましたが、まだまだ勉強不足だということを感じています。また、日本語で言えないことは外国語でも当然言うことはできません。語学力を磨くことと同じくらいに、自分の伝えたいことをしっかり持つということも意識しなければと思っています。

今回の研修のためにいろいろとご支援いただきました、職員課の方々、国際交流課の方々、現地であたたかく対応していただいたの方々、お世話になりました全ての方々に感謝申し上げます。そして、一緒に研修に参加させていただきました杉山さん、佐藤さんには、事前準備や打ち合わせから本当にお世話になりました。厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

農学部総務係 猪瀬 智巳



Shizuoka University